

新技術発表会 in大阪

～ 新技術、新工法の理解、活用促進に向けて ～

第13回テーマ

「土工、コンクリート工、道路維持修繕編」

日時 **2014.4/21月**
13:00～17:00 (受付12:00～)

会場 **エル・おおさか 南ホール**
(大阪市中央区北浜東3-14)
TEL.06-6942-0001 **定員100人**

新技術発表会プログラム

- 13:00～13:05 お知らせ
- 13:05～13:35 「2014年度大阪府都市整備部入札制度について」
／大阪府都市整備部
- 13:35～14:00 「袋詰脱水処理工法」
／ハイグレードソイル研究コンソーシアム(事務局(財)土木研究センター)
- 14:00～14:25 「ETC車両事故防止システム、ETC車両運行管理システム」
／古野電気(株)
- 14:25～14:35 休憩(10分)
- 14:35～15:00 「RCGインナーシール」
／岡三リビック(株)
- 15:00～15:25 「透水機能を有する型枠工(排水・湿润連続養生工法:Wキュアリング)」
／大成建設(株)
- 15:25～15:50 「プレートフック、プレートナット工法」
／東京鉄鋼(株)
- 15:50～16:00 休憩(10分)
- 16:00～16:25 「EX-TREND武蔵 建設CAD」
／福井コンピュータ(株)
- 16:25～16:50 「グラウト押し上注入工法」
／(有)真鍋組

申込方法

① FAX.06-6201-3928

(裏面の用紙に記載)

② ホームページ (URL)

<http://www.kentsu.co.jp>

※弊社からお申込完了と受講料のお振込み案内をお送りします

参加費 **無 料**

申込期限

2014年4月11日 (定員になり次第、締め切らせていただきます)

連絡先

(株)建通新聞社大阪支社「新技術発表会」係 (担当: 曾根、松本(道))

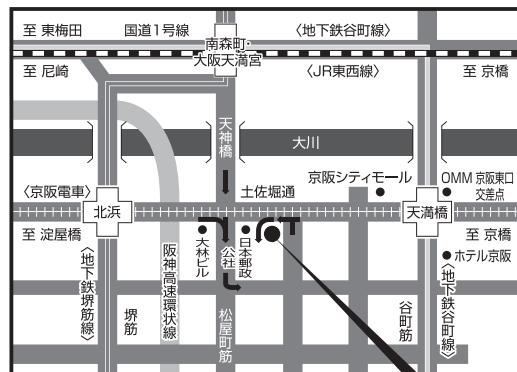
TEL.06-6201-3927

継続教育

CPDS認定(申請中)

全国土木施工管理技士会連合会のCPDS認定講習(4ユニット)

アクセス



- 京阪・地下鉄谷町線「天満橋駅」より西へ300m
- 京阪・地下鉄堺筋線「北浜駅」より東へ500m
- 地下鉄御堂筋線「淀屋橋駅」より東へ1,200m
- JR東西線「大阪天満宮駅」より南へ850m
- 車でお越しの場合は、阪神高速東大阪線、法門坂出口を左折して直進、京阪東口交差点左折、西へ信号5つ目

**エル・おおさか
本館・南館**

建通新聞社 大阪支社

第13回

新技術発表会

概要

土工、コンクリート工、道路維持修繕編

1

袋詰脱水処理工法

ハイグレードソイル研究コンソーシアム(事務局(財)土木研究センター)

本技術は袋詰脱水処理工法で、従来は機械脱水工法で対応していた。本技術の活用により作業性、経済性、周辺環境の向上が期待できる。

2

ETC車両事故防止システム、ETC車両運行管理システム

古野電気(株)

本技術は、ETCを利用した工事車両事故防止システムで、従来は運搬道路上に交通誘導員を配置して対応していた。本技術の活用により、交通誘導員を配置しないためコスト削減を図るとともに、後続車両への注意喚起や夜間の工事車両誘導など、安全性の向上が期待できる。

3

RCGインナーシール

岡三リビック(株)

本技術は主成分の粒子コロイドと化学反応の相互効果でコンクリート躯体を保護する技術です。従来は有機系の塗膜によって保護してきましたが、本技術の活用によりコスト縮減、工期短縮、安全性・品質の向上が期待できる。

4

透水機能を有する型枠工(排水・湿潤連続養生工法：Wキュアリング)

大成建設(株)

本技術は、透水板兼せき板に透水シートを取り付けた型枠材を使用した、透水機能を有する型枠工です。本技術の活用により、コンクリート打込み初期の余剰水や気泡の除去、およびコンクリート硬化後の給水による湿潤養生を連続して行うことができるため、コンクリート表層部を緻密化し、耐久性などコンクリートの品質を大幅に向上することが可能となります。

5

プレートフック、プレートナット工法

東京鉄鋼(株)

本技術はプレート定着型のせん断補強鉄筋および座屈防止鉄筋である。従来は、両端半円形フックで配筋になどで対応している。本技術の活用により、施工性の向上や、半円フックでは施工困難な部位の配筋が容易となり、工期短縮が可能となる。

本技術は、定着金物による鉄筋の機械式定着工法である。従来は、標準フック定着で対応していた。本技術の活用により、鉄筋の定着が直線定着となるため、定着部の鉄筋が混み合わず、配筋作業が簡素化され、工程が短縮する。

6

EX-TREND武蔵 建設CAD

福井コンピュータ(株)

本技術は、切土や盛土などの数量をCADデータの横断面図から自動で取得できる技術あり、従来は紙図面から三角スケールなどを使用し面積を拾っていた。本技術は土木専用CADによる操作だけの作業のため、本技術の活用により作業効率・精度向上が期待できる。

7

グラウト押上注入工法

有真鍋組

本技術は、コンクリート構造物のひび割れや欠損箇所の断面修復を小型グラウト注入機材による押上注入によって行う技術です。従来はポリマーセメントモルタルをコテ塗りして行っていましたが、本技術の活用によりJIS配合グラウトを用いた空隙のない断面修復が可能です。

4月21日(月)

新技術発表会

in大阪

受講申込書

FAX番号: **06-6201-3928**

右記、記入の上
上記FAX番号迄ご送付ください

所 属 企業名・団体名

氏 名

※複数の場合は参加される方
全員をご記入ください

住 所 〒

電話番号

FAX番号

E-mail